がん化学療法レジメン

第1版	改訂日	

登録日	R1.12.12	実施区分	□ 入院のみ ■ 入院及び外来	初回入院	■ 必要
レジメン番号	骨髄腫(MM)−015	診療科名	血液内科		
レジメン名	EPd療法				
レジメン補足	エロツズマブ+ポマリドミド+デキサメタゾン				
がん腫	再発又は難治性の多発性骨髄腫				

薬剤名	漏出	投与量	1 (週)							2							3							4						
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
エロツズマブ (エムプリシティ)		10mg/kg (1･2コース目)	●							●							●							●						
エロツズマブ (エムプリシティ)		20mg/kg (3コース目以降)	●																											
ポマリドミド (ポマリスト)		4mg (内服)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
デキサメタゾン (レナデックス)		40mg/日 (※)	●							●							●							●						

1コース期間	28 日	目標コース数	□有 （ コース） ■無 （PDまで）
点滴時間	【1･2コース目】 (初回) 3時間～4時間45分 (2回目) 1時間45分～2時間45分 (3回目以降) 1時間30分～2時間15分 【3コース目以降】 (初回) 1時間45分～2時間45分 (2回目) 1時間30分～2時間15分		
注意事項など	インラインフィルター付き輸液セットを用いること 点滴開始前までにアセトアミノフェン(300～1000mg)の内服を行うこと 《エロツズマブの投与について》 1-2コース目はday 1, 8, 15, 22に、3コース目以降はday 1に投与すること 《デキサメタゾンの投与について(※)》 エロツズマブ投与日：インフュージョンリアクション予防に8mgを静脈内投与し、28mgを経口投与すること (75歳を超える場合は、インフュージョンリアクション予防に8mgを静脈内投与、8mgを経口投与) 内服分はエロツズマブ投与開始の3～24時間前までに行うこと エロツズマブ非投与日：40mg経口投与 (75歳を超える場合は20mg) 《生理食塩水の希釈量について》 体重50kg未満：生理食塩水150mL 体重50kg以上90kg以下：生理食塩水250mL 体重90kg超え：生理食塩水350mL		

【1･2コース目】Day 1, 8, 15, 22

《メイン》 インラインフィルター付きの輸液セット

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	生食	50mL	全開点滴
	デキサメタゾン(デキサート)	6.6mg	
②	生食	100mL	45分点滴
	ファモチジン(ガスター)	20mg	
	クロルフェニラミン(ポララミン)	5mg	
③	生食	体重による必要量	**右図(※)**点滴
	注射用水		
	エロツズマブ	10mg/kg	
④	生食	50mL	フラッシュ

※投与速度※

《初回》
開始−30分：30mL/H (0.5mL/分)
30分−60分：60mL/H (1.0mL/分)
60分−終了：120mL/H (2.0mL/分)

《2回目》
開始−30分：180mL/H (3.0mL/分)
30分−終了：240mL/H (4.0mL/分)

《3回目以降》
300mL/H (5.0mL/分)

【3コース目以降】Day 1

《メイン》 インラインフィルター付きの輸液セット

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	生食	50mL	全開点滴
	デキサメタゾン(デキサート)	6.6mg	
②	生食	100mL	45分点滴
	ファモチジン(ガスター)	20mg	
	クロルフェニラミン(ポララミン)	5mg	
③	生食	体重による必要量	**右図(★)**点滴
	注射用水		
	エロツズマブ	20mg/kg	
④	生食	50mL	フラッシュ

★投与速度★

《3コース目》
開始−30分：180mL/H (3.0mL/分)
30分−終了：240mL/H (4.0mL/分)

《4コース目以降》
300mL/H (5.0mL/分)